

## 那珂川町におけるワーケーションの取組みについて

## 1 目的

新型コロナウイルス感染症の影響が広がり、ウィズコロナやアフターコロナに備えた新しい生活様式が広まりを見せている中、町内の資源を活かしたワーケーションを推進することにより、関係人口の創出や定住人口の増加を図ることを目的として、モニターツアーを企画し商品化を検証することを目的とする。

## 2 経過

- 令和 2 年 4 月 移住定住モニターツアー内容検討  
6 月 議会定例会でワーケーションに関する一般質問  
ワーケーション自治体協議会入会（県内初）  
8 月 1 回目のモニターツアーを企画するも、都内の感染者が増加傾向（第 2 波）  
にあったため実施せず  
10 月 1 回目のモニターツアー実施（4 組の家族 10 名と 2 人の個人が参加）  
11 月 2 回目のモニターツアー実施（4 組の家族 13 名が参加）  
12 月 3 回目のモニターツアー実施予定

## 3 モニターツアー行程

モニター：親子

- 1 日目（金） 午前 那珂川町到着  
親はワーキングスペースで仕事  
子は小学校を体験（未就学児はスタッフ同行のもと田舎遊び）  
2 日目（土） 終日 町内及び周辺を観光（事前に体験メニューを情報提供）  
※仕事をしたい場合は事前に申し出てもらう  
3 日目（日） 午前 町内及び周辺を観光（事前に体験メニューを情報提供）  
午後 帰宅

## 4 今後の展望

- ・ワーケーション（観光資源）やサテライトオフィス（遊休資源）の可能性
- ・地域人財が活躍する場の提供
- ・教育委員会（学校）との連携
- ・通信環境の整備（ケーブルテレビの活用）
- ・分譲宅地の整備